

ToE-Z II Axlrandom[®] アクセルランダムアクション。 「オーロラマーク」を磨き消す!

モーターの大トルク化!



バフに不規則で、大きな回転力を与えるために、バフパッドとモーター出力軸との間に、クラッチ機構を設け、滑り駆動しながらトルク伝達できる構造（特許、日本・中国・韓国・米国・ドイツ・フランス・イタリア他）を持ったことで、オーロラマークを磨き消すことを可能にしたランダムアクションポリッシャ。

①モーター部を大型化して回転トルクを高め、伝える力そのものを大きくした。②動力伝達の効率化を図った。クラッチ期の摩擦が強く動く（円柱側面の平行摺動面）工夫（日本・台湾改良特許取得）をした。

③バフを含めた偏心回転盤のアンバランスを少なくし、更にモーターの慣性力を大きくすることで、バフ盤のゆれと振動を少なくして、バフが塗装に接触する時間を増やした（バフがバランサーの一部のための専用バフをご使用下さい）。④クラッチの素材を変更・工夫し、摺動性が大きく、耐熱温度の高いものにした。⑤仕上げ研磨の良好なツヤのために、低速・高トルクでバフを回転させる工夫をした。ことによって、シングル回転ポリッシャに迫る研磨力を持ちながら、オーロラの舞いスカットした深いツヤを実現します。

研磨技術を持った人は仕上げ用機として確実に、持たない人でも簡単に熟練のプロの磨きと仕上げ技術が手に入ります。

クラッチ部

パッドの軸心と回転盤の中心との距離の2倍（オービットダイヤ）を自由に変更可能（特許取得）ですが、1.0をご使用下さい。研磨力・バランス共に良好です。

ポリッシャの運動方法によるオーロラマーク



ToE-Z IIにおけるバフ部は、バフが「規則的な回転運動」をするシングル回転ポリッシャや「複雑であっても規則的な運動」をするギヤアクションポリッシャと違い、「絶えず不規則な運動」を繰り返す。したがって、バフの「規則的な運動」が原因で発生するオーロラ（ホログラム）模様を仕上げ機として磨き消すことが出来、研磨後にそれが全く発生しません。更に従来のランダムアクション運動とも違い、塗面に対する摺動力が高められているので、色ツヤがボケることがありません。

しかも、大トルクモーターとクラッチドライブ機構で研磨力が高められているので磨き残しなどの失敗も激減します。